

新山協ニュース

▲ 発行者 井出 秀雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町3-11-7 藤井 信方 TEL 0258-32-4835

幻の山『大平山』

むささび会

加藤 記代子

情報は控えなければなりません、自然保護を考えさせられた登山でありましたので書くことに致しました。

夫は、五、六年前からこの山に取り付かれており、資料のない困難な中で何とか登山計画を立てたが、災害復興の道路工事のため通行止で入山のアプローチが断たれていました。それから時が過ぎ入山

の手掛かりをつかむべき手をつくし、工事現場の許可のみになりました。現地に行き通行許可依頼をしました。『通行許可はしていない』の一言

でしたが、入山の必要を訴えどうにか理解を得たようでありました。その陰には工事現場にしかるべき方で新潟県人がおられたことが幸いし助かりました。一日待たされまし

**新年会・協会創立
50周年記念祝賀会案内**

日時 1998年1月18日(日)
12時開宴
会場 長岡市台町
ホテルニューオータニ
電話 0258-37-1111
会費 10,000円(記念誌含)
申込 〒940
長岡市学校町3丁目11-7
藤井信方
新潟県山岳協会
電話 0258-32-4835
ハガキにて申込願います。

理事会開催案内

新年会に先立ち同会場にて、理事会を開催します。
役員、理事、委員各位は10時00分までに参集願います。



オオヒラウスユキソウ

越えるようです。大平山は、北海道の道南の日本海側であり、大平川と泊川に挟まれ、知名度もなく、一見森林に覆われているどこにもあるような低山で、外見では魅力など想像もつきません。しかし、植物学的に貴重な山でこの山一帯は、自然環境保全地域に指定されています。石登山口は、植物が伸び放題

になつており足を踏み入ることをためらうほどでした。十五年もの歳月は、自然を蘇らせています。当然生態系も変化され、熊も生活圏とするようになってはいるはずですが。踏み跡はあったものの荒廃し、雑草が生い茂り行く手を阻まれ熊笛を必要以上に笛いて歩きました。六年前でありましたが役場からの情報では『空から状況を観察したところ熊が多く生息しているから危険です。』ので入山は禁止です。』と言われていた事に加え、この度は工事現場の方に『車のエンジン音を掛けたところ熊が対岸に逃げ行きその後には鹿の頭が残されていた。』と熊が多いことを教えてくださった事が脳裏から離れず神経が高まっていました。「熊さん通りますよ」と大声をかけた暗い樹林帯の急登を露にぬれながら歩いた。かん木帯になると斜度はよりきつく急峻きわまりありません。私の経験から北アルプスの餓鬼岳から北燕岳の登りが三步登り二歩下がる時に次ぎきついで、砂れきでないだけよい程度です。一、〇〇〇mでようやく石灰岩のわずかな空間に出てホッ

トします。一息つくによい場所ですが高山植物が咲き乱れ踏み込むことができません。ヒメエゾネギ、エゾカワラマツバ、シコタンヨモギ等緊張して来ただけに心が和みます。向かいの神威山を挟んで千走川の奥にそびえている、昨日登った狩場山一、五一九・九mの山頂は層雲に覆われ望めず残念であります。周囲の山々も森林に覆われうっそうとしています。再びかん木帯の急峻の起伏を登ると石灰岩にまた出ます。夫は目を皿にしてお目当ての植物を隅無く探しました。「ああ、あった」歓喜は天空をついた。番茶も出花で撮影には少し早く、良い被写体を探した。希少植物と言われている幻のオオヒラウスユキソウ、カラフトマンテマ、ムラサキモモンズルが点在していました。繁殖の勢いを伺うことができ大喜びでありました。これより一、一〇九mまでは足場が悪いが石灰岩の高山植物のほほえましい散歩コースとなります。

一、一〇九m地点の植物は、ホンバノコガネサイコ、トウゲブキ、アサギリソウ、エゾイブキトラノオ、エゾゼンテイカ、エゾキバナノカワラマツバ、ホソバツメクサ、ヒメエゾネギ、タテヤマウツボグサ、タカネナデシコ、チシマクルマユリ、タカネシユロソウ、イワベンケイ、ミヤマコウゾリナ、タカネミミナグサ、モイワシヤジン、ミヤマカラマツ。

この先は再びかん木帯と雑草が入り乱れ、山頂へ続きます。たかが一、一九〇・六mであるだけで四時間にも及ぶ急峻の山岳で有ることを新たに認識し、山は高さではないことをさらに自覚しました。熊との出会いを恐れ神経疲労をしましたが高山植物が豊かで魅了させられた有意義な山行でありました。夫は、『これで日本のウスユキソウ属は全種類収録ができた』と満足感に浸っています。

自然保護とは、どのように有るべきかを学んだような気がします。生物を学んだ息子が言っていた『私達が入山しただけで、生態系が変わる』とそのとおり痛切に悟りました。人が歩いた山道は十五年を経た現在でも植物は生える事なくそのままです。いかに加重をかけた土地の復元は難

しいかです。岩場にある高山植物の保護は殊に難しく、数人踏み込むだけでせつかく復元されつつある高山植物はまた撃滅の一途をたどることは必定です。『高山植物を愛する方に見ていただきたい』、『保護』はの板挟みになります。万物の権利はどのようであつたらよいのでしょうか。

お知らせ

第37回 全日本登山体育大会

1、期日 平成10年7月10日

〜12日

2、会場 大雪山系北東部

(黒岳・北海岳・赤岳・緑岳・小泉岳・お鉢平 上川町・層雲峽を基点として)

3、参加費 三万円(宿泊費、食費及び輸送費、記念品等)

4、申込期限

第一次締切

平成10年3月20日

第二次締切

平成10年5月20日

参加人員 500名

今大会は「大雪山 カムイ

ミントラの集い」(神々の座、

神々の来たりて遊ぶ庭)をテーマに大雪山を中心にA〜Gの

縦走・往復登山7コースを設定し、北海道の季節的には最

高の時期に開催するため、参加者が多いことが見込まれ申

込時期が早めになっていきます

ので、参加希望者は、詳細に

ついて事務局杉本氏に照会し

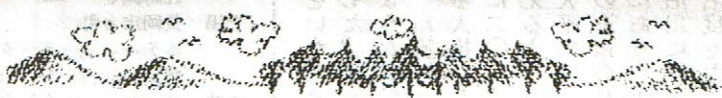
てください。

事務局

杉本氏

に照会

してください。



中高年登山教室に参加して

新潟市

平井 マサエ

中高年登山教室に参加して4年になります。4年前に汗をかき、花を鑑賞にと角田山に登ったのがきっかけの中高年の山登りです。

6日は、「どのようなときに事故が起こるのか」という題で遭難事故防止の話と、最近の「登山スタイル」で直接事故にはつながらないにしても登山というなかでの行動にふさわしい装備の着用と使用についての講演

があり、とてもためになる話でした。

7日、天候はくもり、私達のパーティーは16人、バスの中では雨に向かって登るのは始めてなので、少し心配になり緊張もしました。

林道を20分歩き朝食となった時、夫はおにぎ



りをもらってこず、私まかせの困った夫で「いいかげんにしてくれ」と叫びたい気持ちでした。

気を取り直し山頂まで3時間の登り……足に自信のない私は新道分岐点から前に出してもらいました。

11時火口原で雨の中、傘をさしての昼食となりました。サプリーダーの手際良い昼食の取り方がすごく勉強になり

ました。その後はスマイルで写真会、急登な下山、足場も悪く一歩一歩慎重に下り姫見台に着いた時、リーダーから、下山のとき全員の歩調がそろっていたとおほめの言葉をいただきました。

16時無事16人元気に下山。

そんななかでもちよつと気のついたことは、単調な登りから足場の悪い所にさしかかってもおしゃべり脇見で、石につまづき額にコブを作る人、中間にいて花の写真を撮り後続の人のペースを乱す人、山頂から下山中登りで喘いでいる人に「もう少しだからガンバッテ」と声をかける人、スキー場は急なのでジグザクに下るように注意があったにもかかわらず直進で下った人、と6日の講義の中の注意が守れなかったのは残念に思う場面もありました。

今後私自信も注意したいと思います。

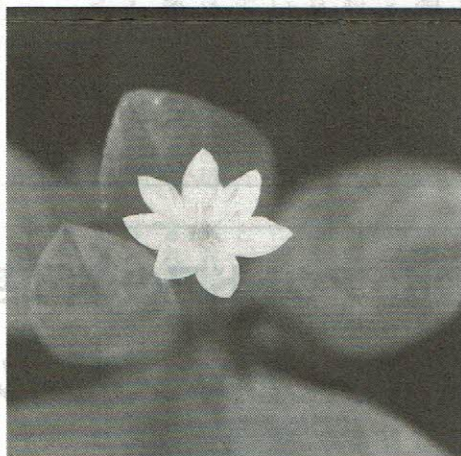
私どもは、年に一回は山小屋で止まる登山をします。それにはもつと知識・技術を少しでも身に付けたいので、この登山教室をこれからも利用させてもらおうと思っています。

カムチャッカの高山植物 ⑦

むささび会 加藤 明文

コツマトリソウ (サクラソウ科)

分布：北半球の高山と寒地



ツマトリソウとコツマトリの区別は葉先がすどく突る(前者)に対して葉先が丸い(後者)のが簡単な差である。日本では北海道と東北の山に多く生育するので楽に会える。

カムチャッカの都はベトロパブロフスキーで街中までダケカンバの林が広がり建物の無い所では荒地そのものでナナカマドはじめいろいろな高山植物が日本の雑草のような感覚で咲き、その種類も量も多く、ほんとに楽しませていただいた。そんな中で咲いていた花のひとつで、車とミニスカートと場違いの花と……。

花の色：白

平成九年度 北信越地区審判員研修会のお知らせ 平成十年度北信越国体(新潟)山岳競技に備えよう

次のとおり平成九年度北信越地区審判員研修会が開催されます。

国体山岳競技に関心のある方、既に審判員の資格を持っている方の参加をお待ちしております。

日時 平成10年2月21日～22日
場所 上越市大字大日34番地5
「国民年金健康センター上越」
研修内容

認定研修会

山岳競技概論

山岳競技規則・基準の購読

討議とまとめ

運営研修会

山岳競技第2ステップ改定経過・概要

討議とまとめ

日程 21日(土) 13時から
22日(日) 12時まで

認定研修会・運営研修会に別れ講義・購読・討論・まとめをする。

資料

国民体育大会山岳競技規則
集と山岳競技実施基準を持
参又は購入。

参加費

一名につき一〇、〇〇〇円
(一泊朝食夕宴付、資料費は除く)

(宿泊しない者は六、〇〇〇円
宴付)

参加申込

①氏名②生年月日③住所④電話番号⑤参加区分(運営か認定か)⑥宿泊の有無⑦国体及び同予選会の参加歴⑧所属団体長の推薦を添え
〒940-0124 〇二
三島郡与板町与板二四一
森 庄一 あてに
☎〇二五八七二二七二〇
(FAX兼)

平成10年1月30日必着で申込んで下さい。



交通

■JR信越本線高田駅より直江津駅行き(リージョンプラザ経由)バスで約15分、上鳥入口下車、徒歩約1分。高田駅よりタクシーなら約10分
■JR信越本線・北陸本線直江津駅よりタクシーで約15分
■北陸自動車道上越ICより車で約5分

常務理事会報告

期日 平成9年11月30日

会場 新潟市 東急イン

1、創立50周年記念祝賀会の招待者について

県関係、北信越及び関東地区各岳連協会長、中国及び韓国の友好山岳会等に送付することとなった。

2、記念誌の予約申し込みについて

祝賀会当日、希望者に渡せるよう予約申込を受ける。また、評議員会までも各会からの予約申込を受ける。

3、その他

①審判員研修会は一週間予定日を遅らして開催する。

②北信越国体予選登攀会場が常設となる可能性が有ること。

もし実現することになれば本県の登攀技術向上に寄与できるもので、期待したいものです。

藤井信、五十嵐篤雄、今成幸夫、平田大六、土田幸雄、井出秀雄、山田智子、坂井厚、阿部信一、小林由夫、森庄一、片桐一夫、田辺信行

平成10年1・2月専門委員会行事予定

日時	行事名	会場	担当
10.1.18	理事会	長岡市	総務
10.1.18	新年会・県山協創立50周年記念祝賀会	長岡市	総務・50周年
10.1.24-	国体予選会場調査	糸魚川市	国体
10.1.24-	北信越国体会場調査	糸魚川市	国体
10.1.	県体協 新年会	新潟市タリヤ軒	国体
10.1.	新潟県遭難対策協議会	新潟県庁	遭難対策
10.2.	関東地区連絡協議会		総務
10.2.21-22	審判員認定・運営研修会	上越市	国体

日山協・文部省登山研修所等1・2月行事予定

日時	行事名	会場	担当
10.2.15	評議員会	東京	総務
10.2.21-22	日山協海外登山技術研究会	東京八王子市	海外登山

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東城6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店



ICI 石井スポーツ

新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)